

広島大学における教員の採用最低基準（人文学）

・研究業績の指標は、「学術書・学術論文執筆数」を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	70 点以上	40 点以上	30 点以上	20 点以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授か ら)	准教授(准教 授, 講師から)	准教授(助教か ら)	講師(講師か ら)	講師(助教か ら)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
研究業績	70 点以上	40 点以上	40 点以上	30 点以上	30 点以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表1-1：研究業績点

項 目	種 別	点 数	追加点数
学術書	(1) 国際学術誌又は広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌で書評の対象となったもの, 出版助成を受けたもの, 学会などの賞を受賞したもの	40/件	外国語：+10
	(2) その他	30/件	外国語：+5
学術論文	(1) SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS®, Web of Science® 論文	20/件	
	(2) 広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)の雑誌に掲載された論文, 又は(1)以外の国際学術誌に掲載された論文	10/件	

(\*1) 共著とは、学術書、学術論文を問わず、表紙・扉・奥付等に記名があるものに限る。

(\*2) 共著の点数は、学術書、学術論文を問わず、1件につき下記の計算式から算出する。

筆頭著者(アルファベット順でない)、責任著者(corresponding author)：点数×点

その他：点数/共著人数

(\*3) 学術書の分担執筆の点数は、(1) 10/件、(2) 5/件とする。

(\*4) 「広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU\_AHSS)」に関しては、今後必要な修正を行うことを前提とする。

広島大学における教員の採用最低基準（社会科学）

・基準は「法学・政治学，社会学」と「経済学・経営学」で別に定める。

【法学・政治学，社会学】

・研究業績の指標は，主に「学術書，学術論文数，学会発表，受賞歴」を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持又は研究業績がこれに準じると認められること	博士号保持又は研究業績がこれに準じると認められること	博士号保持又は研究業績がこれに準じると認められること	博士号保持又は研究業績がこれに準じると認められること
研究業績	70 点以上	30 点以上	25 点以上	15 点以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授，講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	70 点以上	40 点以上	40 点以上	30 点以上	30 点以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表 2-1：研究業績点

項目	種別	点数
著書	学術書(単著)	50
	学術書(共著)	20
	学術的著書(単著，教科書・専門分野の啓蒙書)	15
	学術的著書(共著，教科書・専門分野の啓蒙書)	10
	著書(単著・外国語での出版)	60
	著書(共著・外国語での出版)	30
論文	SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS 論文(単著)	20
	上記以外の外国語学術論文(単著)	15
	全国学会の機関誌論文(単著)	10
	著名な商業誌掲載論文(単著・別記リスト雑誌に限る)	10
	上記以外の学会，地域，大学の雑誌掲載論文(単著)	6
	上記の論文のうち共著論文	単著論文の 4 割の点数
学会発表	招待講演	4

	国際学会発表	4
	国内学会発表	2
受賞	各種受賞(学会賞, 出版賞, 学術賞)	20

【経済学・経営学】

- ・研究業績の指標は、主に「G-index」(テニユア審査の場合は、「外部資金受入」も対象)を用いる。
- ・G-index の計算には、Web of Science を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	G $\geq$ 3 又は 35 点以上	G $\geq$ 2 又は 25 点以上	SCOPUS 論文 1 本以上。 又は 15 点以上	5 点以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指標	教授 (准教授から)	准教授 (准教授, 講師から)	准教授 (助教から)	講師 (講師から)	講師 (助教から)
期間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
研究業績	G $\geq$ 4 又は 40 点以上	G $\geq$ 3 又は 30 点以上	G $\geq$ 2 又は 25 点以上	SCI 等論文 1 本以上。 又は 18 点以上	SCOPUS 論文 1 本以上。 又は 15 点以上
外部資金受入	17 点以上	7 点以上	5 点以上	2 点以上	2 点以上

(\*)SCI 等論文とは、SCI 論文、SSCI 論文及び A&HCI 論文を指す。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表 2-2 : 研究業績点

項目	種別	点数
学術著書	単著	30
	分担執筆	5
論文	SCI, SSCI, A&HCI 論文	30
	SCOPUS 論文	20
	HU_AHSS 論文	15
	Web of Science で引用	5
	国際会議発表論文	3
受賞	著作賞	10
	学会賞等	10

(\*) 論文の点数の計算には、「SCI, SSCI, A&HCI 論文」、「SCOPUS 論文」、「HU\_AHSS 論文」及び

「国際会議発表論文」を参照し，高い方を採用する。

表 2-3 : 外部資金受入点

項 目	点 数
科研代表	10
若手代表	7
科研分担	2
その他の外部資金	5

広島大学における教員の採用最低基準（心理学）

・研究業績の指標は、主に「査読付き論文数」を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
査読付き論文数	7本以上	5本以上	3本以上	1本以上

(\*）査読付き論文には SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS 論文のいずれかを1本以上含むこと。

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授 から)	准教授(准教 授から)	准教授(講師 から)	准教授(助教 から)	講師(講師か ら)	講師(助教か ら)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
査読付き 論文数	5本以上	4本以上	5本以上	4本以上	4本以上	4本以上

(\*）査読付き論文には SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS 論文のいずれかを1本以上含むこと。

広島大学における教員の採用最低基準（教育学・スポーツ科学）

- ・基準は、「教育学」、「教科教育学」、「スポーツ科学」で別に定める。
- ・最低基準は、研究力に関するもののみとする。テニユア適格に関する基準については、ここで定める研究力の最低基準の他に、教育活動、運営業務に関する基準も別途設ける。

【教育学】

- ・研究業績の指標は、「G-index」と「学術的著書・論文数」を用いる。
- ・G-indexの計算には、SCOPUS、Web of Science 及び Google Scholar(記述言語は問わない)を参照し、高い方を採用する。
- ・「G-index」と「学術的著書・論文に重み付けを加えた点数」は、どちらか一方を満たすことを条件とする。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	G $\geq$ 3	G $\geq$ 3	G $\geq$ 3	
学術的著書・論文に重み付けを加えた点数	5 点以上	4 点以上	3 点以上	2 点以上

(\*)教授については業績に外国語論文を1本以上含むこと(特別支援教育学を除く)

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	G $\geq$ 3	G $\geq$ 2	G $\geq$ 2	G $\geq$ 1	G $\geq$ 1	G $\geq$ 1
学術的著書・論文に重み付けを加えた点数	5 点以上	4 点以上	4 点以上	3 点以上	3 点以上	3 点以上

(\*)教授については業績に外国語論文を1本以上含むこと(特別支援教育学を除く)

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

表4-1：学術的著書・論文重み付け点数表

項 目	種 別	点 数
著 書	単著(外国語)	4
	編著(外国語)	3
	共著・分担執筆の専門書(外国語)	2
	単著(和文)	3
	編著(和文)	2
	共著・分担執筆の専門書(和文)	1
論 文	単著・筆頭・責任著者の査読論文(外国語)	2

第二著者以下の共著の査読論文(外国語)	1
単著・筆頭・責任著者の査読論文(和文)	1
第二著者以下の共著の査読論文(和文)	0.5

(\*）論文は、SCI/SSCI/A&HCI/ESCI 論文及び広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU\_AHSS)に採録された雑誌に掲載されたものとする。

### 【教科教育学】

- ・研究業績の指標は、主に「論文(査読有)」(教科教育学実技系教員の場合は、「作品・演奏・競技等」も対象)を用いる。
- ・研究領域の多様性をふまえて、R 値(研究系教員)、P 値(実践系教員)、T 値(実技系教員)の3つを設定する。R 値、P 値、T 値は、次の項目について表 6-1(研究業績評価表)により算出する。
- ・研究系教員とは、実践系教員及び実技系教員以外の教員のことを指す。
- ・実践系教員とは、論文(査読有)や著書に加えて、幼・小・中・高の教育職員免許にかかる課程認定に必要とされる当該の教育実践研究の業績や教育歴を有する教員のことを指す。
- ・実技系教員とは、論文(査読有)や著書に加えて、造形・音楽・スポーツ等の実技に関する実績を有する教員のことを指す。

R 値	著書，論文(査読有)
P 値	著書，論文(査読有)
T 値	著書，論文(査読有)，作品・演奏・競技等

### (1)新規採用のための最低基準

#### <研究系教員及び実践系教員>

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	研究系教員 R $\geq$ 30	研究系教員 R $\geq$ 20	研究系教員 R $\geq$ 12	研究系教員 R $\geq$ 6
	実践系教員 P $\geq$ 24	実践系教員 P $\geq$ 18	実践系教員 P $\geq$ 12	実践系教員 P $\geq$ 6

#### <実技系教員>

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持又はこれに準ずる業績を有すること	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	実技系教員 T $\geq$ 24	実技系教員 T $\geq$ 18	実技系教員 T $\geq$ 12	実技系教員 T $\geq$ 6

(\*1)「これに準ずる業績を有すること」とは、「国際・全国レベルの公募展・コンクール・競技会等で入賞・受賞の実績があること」を指す。

### (2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

<研究系教員及び実践系教員>

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	研究系教員 R $\geq$ 30	研究系教員 R $\geq$ 25	研究系教員 R $\geq$ 20	研究系教員 R $\geq$ 20	研究系教員 R $\geq$ 16	研究系教員 R $\geq$ 12
	実践系教員 P $\geq$ 24	実践系教員 P $\geq$ 21	実践系教員 P $\geq$ 18	実践系教員 P $\geq$ 18	実践系教員 P $\geq$ 15	実践系教員 P $\geq$ 12

<実技系教員>

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号保持 又はこれに準ずる業績を有すること	博士号については問わない	博士号については問わない
研究業績	実技系教員 T $\geq$ 24	実技系教員 T $\geq$ 21	実技系教員 T $\geq$ 18	実技系教員 T $\geq$ 18	実技系教員 T $\geq$ 15	実技系教員 T $\geq$ 12

(\*1)「これに準ずる業績を有すること」とは、「国際・全国レベルの公募展・コンクール・競技会等で入賞・受賞の実績があること」を指す。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

表 4-1：研究業績評価表

項 目	種 別	配 点	備 考
著 書	単著・共著	10×(頁数/全頁) / 件	共著には編著を含む
	編集	5 / 編者数 / 件	著者として参画していないもの
	母語以外	1 / 件	上記に加点
論文(査読有)	単著又は第一(責任)著者(国際)	5 / 件	責任著者とは論文全体に責任を持つ著者のことである 国際論文には査読論文に相当する国際学会プロシーディングを含む
	単著又は第一(責任)著者(国内)	3 / 件	



	共著(国際)	5/著者数/件	
	共著(国内)	3/著者数/件	
	共著(国内)母語以外	1/件	上記に加点
	指定雑誌	1/件	上記に加点 指定雑誌とは、Web of Science及び広島大学人文社会系学術雑誌リスト(HU_AHSS)に掲載された学術雑誌を指す
作品・演奏・競技等	国際	5/件	楽譜出版、録音・録画出版、作品の再演・発表を含める
	国内	3/件	

### 【スポーツ科学】

#### (1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない
査読付き論文数	7本以上(英語論文を1本以上含む)	5本以上	3本以上	1本以上

#### (2)テニユア審査のための最低基準

##### ○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持

##### ○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
査読付き論文数	3本以上(英語論文を1本以上含む)	3本以上	3本以上	4本以上	2本以上	2本以上

## 広島大学における教員の採用最低基準（数学・情報学）

- ・基準は、「数学」と「情報学」で別に定める。
- ・研究業績の指標は、主に「G-index」を用いる。

### 【数学】

指標：M, R, G をそれぞれ Mathematical Reviews® (MR), ResearcherID(Web of Science), Google Scholar を用いて算出した G-index の数値とし、A をそれら 3 つの数値の最大値とする。また、X を採用時点で出版(掲載確定を含む)された論文数とする。Y をテニユア審査時点までに出版(掲載確定を含む)された論文数とおく。

なお、准教授の場合、採用時にテニユア採用(すなわち採用時点で定年までの無期雇用)とする場合は、准教授のテニユア審査基準を満たす必要がある。ただし、対象者が若手教員の場合は、 $X \geq 10$  を満たすことのみを基準とする。

ここで、「若手教員」とは学位取得後の研究年数が 13 年以下の教員と定める。ただし、次の場合は上記研究年数には数えない。

- ・公的記録に残る病欠期間がある場合
- ・出産、育児のため研究から離れている、もしくは過去に離れた期間が公的にある場合(男女を問わない)

なお、研究年数における上記の除外期間の有無については確認の必要が生じたときのみ行う。

### (1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授(若手ではない)	講師(若手ではない)	助教(若手ではない)
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない
研究業績	$A \geq 7$	$A \geq 4$	$A \geq 2$	$A \geq 2$

指 標	准教授(若手)	講師(若手)	助教(若手)
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号については問わない
研究業績	$X \geq 5$	$X \geq 3$	$X \geq 2$

### (2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(若手ではない)(准教授, 講師から)	准教授(若手ではない)(助教から)	講師(若手ではない)(講師から)	講師(若手ではない)(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
学位(テニユア教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	$A \geq 7$	$A \geq 5$	$A \geq 5$	$A \geq 3$	$A \geq 3$

指 標	准教授(若手)(准教授, 講師から)	准教授(若手)(助教から)	講師(若手)(講師から)	講師(若手)(助教から)
-----	--------------------	---------------	--------------	--------------

期 間	7 年	5 年	7 年	5 年
学位(テニユア 教員着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
研究業績	$Y \geq 8$	$Y \geq 6$	$Y \geq 6$	$Y \geq (3 \text{ と } X \text{ のうち小さい方}) + 2$

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

ただし、テニユア期間と若手教員期間との関係、また、研究年数に数えない期間が生じた場合の扱いについては次で定める。

1. テニユア期間のうち、若手教員ではない期間がテニユア期間の 2/3 以上ある場合は通常の教員に対するテニユア審査基準を適用する。
2. テニユア期間のうち、若手教員でない期間がテニユア期間の 2/3 未満の場合、審査時に若手教員でなくても、准教授、講師、助教の審査の場合は若手教員に対する基準を適用する。
3. テニユアトラック期間中に研究年数に数えない期間が生じた場合、その期間はテニユアトラック期間には算定しない。

### 【情報学】

#### (1)新規採用のための最低基準

G-index 及び SCI 等論文数を採用する。G-index の計算には、SCOPUS, Web of Science 及び Google Scholar(記述言語は問わない)を参照し、高い方を採用する。

指 標		教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)		博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	理系	一般教員	$G \geq 7$	$G \geq 5$	$G \geq 3$
		業務系教員	$G \geq 5$	$G \geq 3$	$G \geq 3$
	文系	一般教員	$G \geq 3$	$G \geq 2$	$G \geq 1$
		業務系教員	$G \geq 2$	$G \geq 1$	$G \geq 1$
SCI 等論文数	全範囲				1 本以上

(\*)SCI 等論文とは、Scientific Journal Rankings (SJR), Journal Impact Factor (JIF)に含まれる ジャーナル及びプロシーディングスに掲載又は掲載が確定した論文で、筆頭著者もしくは責任著者の論文に限る。

Internationally applicable(国際適用性)を満たす基準として、Scientific Journal Rankings (SJR), Journal Impact Factor (JIF)に含まれるジャーナル及びプロシーディングスに掲載又は掲載が確定した論文数を独立に考慮する。ただし、筆頭著者もしくは責任著者の論文に限る。なお、掲載されてまだ時間が十分たっていない、もしくは、掲載は決定しているが、出版準備中で、明らかに参照数が見込まない場合等を想定し、論文数の基準に到達していれば、IF が概ね 3.0 以上の高い論文が存在する場合には、G-index の基準を満足しなくても、G-index の最低基準を満たすものとする。

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持

論文数(特定条件)	理系	一般教員	7以上	5以上	3以上	2以上
		業務系教員	5以上	3以上	3以上	2以上
	文系	一般教員	3以上	2以上	1以上	1以上
		業務系教員	2以上	1以上	1以上	1以上

(2) テニユア審査のための最低基準

G-index を採用する。G-index の計算には、SCOPUS, Web of Science 及び Google Scholar(記述言語は問わない)を参照し、高い方を採用する。

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標			教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間			7年	7年	7年	5年	7年	5年
G-index	理系	一般教員	$G \geq 14$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 6$	$G \geq 6$
		業務系教員	$G \geq 10$	$G \geq 6$	$G \geq 6$	$G \geq 6$	$G \geq 4$	$G \geq 4$
	文系	一般教員	$G \geq 6$	$G \geq 4$	$G \geq 4$	$G \geq 4$	$G \geq 2$	$G \geq 2$
		業務系教員	$G \geq 4$	$G \geq 2$	$G \geq 2$	$G \geq 2$	$G \geq 2$	$G \geq 2$

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

Internationally applicable(国際適用性)を満たす基準として、Scientific Journal Rankings (SJR), Journal Impact Factor (JIF)に含まれるジャーナル及びプロシーディングスに掲載又は掲載が確定した論文数を独立に考慮する。ただし、筆頭著者もしくは責任著者の論文に限る。なお、掲載されてまだ時間が十分たっていない、もしくは、掲載は決定しているが、出版準備中で、明らかに参照数が見込まない場合等を想定し、論文数の基準に到達していれば、IF が概ね 3.0 以上の高い論文が存在する場合には、G-index の基準を満足しなくても、G-index の最低基準を満たすものとする。

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標			教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間			7年	7年	7年	5年	7年	5年
論文数(特定要件)	理系	一般教員	14以上	10以上	10以上	10以上	6以上	6以上
		業務系教員	10以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上
	文系	一般教員	6以上	4以上	4以上	4以上	2以上	2以上
		業務系教員	4以上	2以上	2以上	2以上	2以上	2以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

(3) 補足

- ・本基準分野における、「理系」及び「文系」の別は、取得学位が博士(情報学), 博士(工学), 博士(理学), あるいは名称は多少異なるが、これらに準じる場合、あるいは、例外的に医学・歯学・薬学・

農学に関連する場合には理系に分類する。それ以外は文系に分類する。

- ・情報メディア教育研究センター配属教員については、本基準適用教員とみなし、「業務系教員」として分類する。それ以外は「一般教員」に分類する。

広島大学における教員の採用最低基準（物理・地球科学）

- ・基準は、「実験物理系」「理論物理系」「地球科学系」で別に定めるが、将来的に統一する。
- ・研究業績の指標は、「G-index」と「SCI論文数」を用いる。
- ・G-indexの計算には、Web of Scienceを用いる。

(1)新規採用のための最低基準

<実験物理系>

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 30$	$G \geq 20$	$G \geq 10$	
SCI論文数				SCI論文2件以上

<理論物理系>

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 5$	
SCI論文数				SCI論文2件以上

<地球科学系>

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 5$	
SCI論文数				SCI論文2件以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

<実験物理系>

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
G-index	$G \geq 30$	$G \geq 20$	$G \geq 20$	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 10$

<理論物理系>

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
G-index	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 5$	$G \geq 5$

<地球科学系>

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
G-index	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 5$	$G \geq 5$

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。

広島大学における教員の採用最低基準（化学・化学工学）

- ・基準は、「化学・化学工学」と「高度専門技術者」で別に定める。  
（高度専門技術者とは、高度な専門技術を評価し企業等から採用する教員を言う。）
- ・研究業績の指標には、主に「G-index」、「SCI論文数(F/C)」を用いる。
- ・G-indexの計算には、Web of Scienceを用いる。

※ SCI論文数(F/C)：発表論文の責任著者(C)，第一著者(F)の論文数。ただし、発表論文に対してF/Cと同等の寄与をした著者であることが認められる論文もカウントする。

【化学・化学工学】

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 20$	$G \geq 10$	$G \geq 3$	
SCI論文数(F/C)	25以上	15以上	5以上	1以上
外部資金獲得件数	5以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を3件以上含むこと)	2以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を2件以上含むこと)	1以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授,講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	5年	7年	5年
G-index	$G \geq 25$	$G \geq 15$	$G \geq 4$	$G \geq 6$	$G \geq 3$
SCI論文数(F/C)	30以上	20以上	10以上	10以上	4以上
外部資金獲得件数	6以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を4件以上含むこと)	3以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を2件以上含むこと)	2以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	2以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を2件以上含むこと)	1以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと,または、競争的資金(代表者)の総計が200万円以上である)

					こと)
博士課程学生指導経験	有				

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

**【高度専門技術者】**

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持
特許出願数	40 以上	20 以上
権利化された特許数	10 以上	5 以上
SCI 論文数(F/C)	10 以上	5 以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)
期 間	7 年	7 年
SCI 論文数(F/C)	10 以上	4 以上
外部資金獲得件数	3 以上 (ただし、研究代表として 科研費又は公的機関 からの競争的資金を 2 件以上含むこと)	1 以上 (ただし、研究代表として 科研費又は公的機関 からの競争的資金を 1 件以上含むこと)



広島大学における教員の採用最低基準（工学）

- ・基準は、「工学」、「高度専門技術者」で別に定める。  
（高度専門技術者とは、高度な専門技術を評価し企業等から採用する教員を言う。）

【工学】

(1)新規採用のための最低基準

論文数に関する条件(G-index 又は, SCI 論文数又は論文数)と外部資金に関する条件を同時に満たすものとする。

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index (*1)	$G \geq 7$	$G \geq 5$	$G \geq 3$	
SCI 論文数				1 以上
論文数 (*2)	20 以上	10 以上	3 以上	2 以上
外部資金 (代表)	4 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	2 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	1 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	

(\*1) Web of Science を利用する。

(\*2) 英文及び和文の査読付き原著論文を対象とする。F/C 論文を問わない。

(2)テニユア審査のための最低基準

論文数に関する条件(G-index 又は論文数)と外部資金に関する条件を同時に満たすものとする。

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授 (准教授から)	准教授 (准教授, 講師 から)	准教授 (助教から)	講師 (講師から)	講師 (助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index (*1)	$G \geq 10$	$G \geq 7$	$G \geq 5$	$G \geq 4$	$G \geq 3$
論文数 (*2)	30 以上	17 以上	10 以上	8 以上	4 以上
外部資金 (代表)	6 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を2件以上含むこと)	4 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	2 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	2 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	1 以上 (ただし, 研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)

(\*1) Web of Science, Researcher ID を利用する。

(\*2) 英文及び和文の査読付き原著論文を対象とする。F/C 論文を問わない。

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

**【高度専門技術者】**

(1)新規採用のための最低基準

表中のすべての条件を満たすものとする。

指 標	教授	准教授
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持
特許出願数	20 以上	10 以上
権利化された特許数	5 以上	2 以上
査読付き論文数 (*)	4 以上	2 以上

(\*) F/C を問わない。

(2)テニユア審査のための最低基準

表中のすべての条件を満たすものとする。

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)
期 間	7 年	7 年
査読付き論文数(F/C)	20 以上	10 以上
外部資金	3 以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)	2 以上 (ただし、研究代表として科研費又は公的機関からの競争的資金を1件以上含むこと)
共同研究(代表)	5 件以上	3 件以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

広島大学における教員の採用最低基準（農学・生物学）

- ・基準は「農学・生物工学」、「農業経済学」、「生物学」で別に定める。
- ・研究業績の指標には、主に「G-index」、「SCI 論文数」を用いる。

【農学・生物工学】

Web of Science データにより国際標準を確保する。助教の採用の規準について G-index は馴染まないことから、SCI 論文数を基準とする。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 7$	$G \geq 6$	$G \geq 5$	
SCI 論文数	15 以上	10 以上	7 以上	1 以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授、講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	$G \geq 10$	$G \geq 9$	$G \geq 6$	$G \geq 8$	$G \geq 5$
SCI 論文数	25 以上	20 以上	10 以上	15 以上	7 以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

【農業経済学】

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 2$	$G \geq 1$	$G \geq 1$	
学術論文・著書数	15 以上	10 以上	7 以上	1 以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授、講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7 年	7 年	5 年	7 年	5 年
G-index	$G \geq 3$	$G \geq 2$	$G \geq 1$	$G \geq 1$	$G \geq 1$
学術論文・著書数	25 以上	20 以上	10 以上	15 以上	7 以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)  
設定なし。

(3)その他

○新規採用基準・テニユア審査基準の研究業績

指標：G-index(Google Scholar を参照；助教の新規採用を除く)及び「SCI, SSCI, A&HCI 論文」, 「広島大学人文社会系学術雑誌推薦リスト論文(HU\_AHSS)」, 「SCOPUS 論文」, 及び日本学術会議報告(農業経済学分野における研究業績について)を参考にした「査読付き論文(学術団体として登録された全国規模以上の諸学会機関誌等)」と「著書」の数を指標に含める。著書については、日本学術会議報告を参考にして、学術誌等での書評の掲載、学会賞受賞、国内外の学術機関による編集等の客観的な評価ができるものと判断されたものを学術論文と同等に扱う。単行本(単編著)は、その内容に応じ学会誌論文の5~10本程度に評価する。助教の採用の基準についてG-indexは馴染まないことから、学術論文・著書数を基準とする。

【生物学】

(1)新規採用のための最低基準

指標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	G $\geq$ 7	G $\geq$ 5	G $\geq$ 4	
SCI論文数(筆頭者, 責任著者, それに準ずる)	8以上	5以上	4以上	1以上
国際性(国際会議招待講演数, 国際会議開催数, 国際学会での発表, 海外での競争資金, 国際共同研究などの件数)	3件以上	2件以上	2件以上	1件以上

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
G-index	G $\geq$ 7	G $\geq$ 6	G $\geq$ 5	G $\geq$ 5	G $\geq$ 4	G $\geq$ 4
SCI論文数(筆頭者, 責任著者, それに準ずる)	8以上	7以上	5以上	5以上	5以上	4以上

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

指標	教授(准教授から)	准教授(准教授から)	准教授(講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期間	7年	7年	7年	5年	7年	5年
外部資金	代表として1件以上					
国際性(国際会議招待講演数, 国際会議開催数, 国際学会での発表, 海外での競争資金, 国際共同研究などの件数)	3件以上	2件以上	2件以上	2件以上	2件以上	1件以上
教育(博士課程前期・後)	有	有	有	有	有	問わない

期の学生を指導した経 験を有すること)						
------------------------	--	--	--	--	--	--



広島大学における教員の採用最低基準（健康科学）

- ・研究業績は「G-index」, 「SCI 論文数」を用いる。G-index を主体とし, SCI 論文数については限定的に使用する。限定する内容については下記参照。
- ・口腔健康科学科における歯科衛生士・歯科技工士助教については, 修士号保持を最低条件とし, SCI 論文数については問わない。
- ・G-index の計算には, Web of Science を用いる。

(1)新規採用のための最低基準

指 標	教授	准教授	講師	助教
学位(着任時)	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持(*1)
G-index	$G \geq 7$	$G \geq 5$	$G \geq 3$	$G \geq 3$ 又は, SCI 論文数 (*2)

(\*1) 臨床(病院)の助教については, 学位の有無を問わない。

(\*2) 助教(新規採用)は, 論文公表から応募までの時間が短い場合もあることを考慮し, G-index, あるいは, SCI 論文数を指標とする。SCI 論文数の最小値は1編とする。

(2)テニユア審査のための最低基準

○テニユアトラック期間以前の実績を含む全実績(テニユア審査時)

指 標	教授(准教授から)	准教授(准教授, 講師から)	准教授(助教から)	講師(講師から)	講師(助教から)
期 間	7年	7年	5年	7年	5年
学 位	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持	博士号保持
G-index	$G \geq 14$	$G \geq 10$	$G \geq 10$	$G \geq 7$	$G \geq 7$

○テニユアトラック期間の全実績(テニユア審査時)

設定なし。